

■顧問・関与先様各位

2017年12月のニュースレターです。今月もよろしくお祈りします。

=【人と組織にかかわるハナシ】=====

■場が人をつくる。

仕事の合間に立ち寄ってきました。徳島市内から40分のところに位置する、人口約6,000人の**神山町**。過疎の山里には光ファイバー網が整備され、IT系ベンチャー企業が相次いでサテライトオフィスを開いています。「働き方の革新」を求める人と「まちづくりの革新」を求める人の共生。写真(右)は、名刺アプリ「Eight」で急成長した、(株)Sansan社のテラライトオフィス「神山ラボ」。古民家です。



※自然と隣あう環境で人間らしく働く豊かさ。反面、斬新なものは、特定の制約下で追い詰められて追い詰められて…ふつと降りてくるように産み出されるものもあり得るでしょう。
 ※「環境が変われば関わる人が変わる。関わる人が変われば仕事が変わる(by 笑福亭鶴瓶)」。場は人なり。人は場なり。

■人が場をつくる。

心理学の師匠、星野恵子先生のWEB勉強会に参加しています。働き方改革で、any time, any whereの働き方が選択できるようになってきましたが、最近では、学びも、any time, any where。週末の夜の、自宅での学びの深さ。

会議のIQの高さは、参加者の平均値ではなく、参加者一人ひとりが均等に話す機会を与えられるかどうか。

※リーダーの3P(permission: 許す, protection: 守る, potency: 効力)に2つのP(practice: 練習の機会, perspective: 観察)を加えると、教育の5Pになるそうです。そしてこれらを大切にしていると感じられる仲間たち。場をつくるのは人ですね。



■セミナー情報■

弊社主催セミナー／☆人事フォーラム「庵-いおり-」☆ <http://oan.co.jp/iori>

【募集中】: 1/15(月)、セミナー形式。久保田康司氏による「ロジカルトランプ」を活用したワークです。

【公開セミナー】12月末迄に松下&アソシエイトが実施の公開セミナー♪

- 12/6(水) 松下直子人事教室/第6回(みずほ総合研究所/東京)
- 12/7(木) ~8(金) 2018『新入社員研修』プランの立て方・教え方(みずほ総合研究所/東京)
- 12/12(火) 管理職が抱える6つの課題と解決ポイント(みずほ総合研究所/大阪)
- 12/12(火) 『自律的』な仕事に必須の4つの力(みずほ総合研究所/東京/佐々木)
- 12/13(水) 管理職選抜・育成の考え方と具体的手法(労務行政/東京)
- 12/14(木) 松下直子の『社労士塾』/第4回(労務行政/東京)
- 12/19(火) 「働き方改革」の実践的おすすめ方(九州生産性本部/福岡)

※2019年3月までに予定されている公開セミナーは弊社サイト (<http://an1139.blog.fe2.com/>) でもご案内しています。

=【先月の現場より】=====

■組織を変えたければ、まず「上」が変わることで。

先月も企業内外での人事評価研修が続きました。10月号でも、新任管理職と既存管理職の評価結果のばらつきの違いを紹介しましたが…

A社/管理職に混ざって社長も参加。30数名の参加者の中で一番評価が厳しかったのは社長。その事実には社長が一番びっくり!

※社長曰く、「自分がこんなに厳しく人を観ていたとは! その事実気付いた!」。

※B社では、管理職研修に全役員も混じって参加くださいます。曰く「役員たちが学んでいない会社でメンバーが学ぶはずがない」。

※子(組織の下位者)は親(上位者)を見て育ちます。



■実践者でなければ、その言葉に重みはありません。

お伺いした企業さんの研修で、研修冒頭や研修後に、人事部長やトップが訓示や参加者へのメッセージを話されることが多々。私が楽しみにしていることのひとつでもあります。つい先日、某社での管理職研修の言葉 by 人事部長。

「管理職は、部下に仕事を発注する。発注されたいと思われる上司足るか? 部下から認められているか? 部下から受け入れられているか?」



※何より印象的だったのは研修中にその部長が見学に入ってきた際、休憩時間になると同時に多くの参加者がその部長のところにワッと集まったこと。部長自身が「認められて」いる方なんですよ。

=【人づくり関連情報紹介】=====

■仕組みをどうこうする前に、まず事例をつくらうよ。

パーソル総合研究所「働く1万人成長実態調査2017」より。従業員の成長「志向」を伸ばすより、実際の成長「実感」を生み出していく方が、その定着に寄与することが明らかに。

<https://rc.persol-group.co.jp/pgs2017/>

※啓蒙主義的アプローチより、行動主義的なアプローチ。つまりマインドアップよりアクションチェンジが重要ということですよ^^



演台に、喉枯れ対策の飴を置いていただくことは多々ありますが、こちらではいつもなぜかやたら大量の「チョコレート」が備え(供え?)られています。全部食べたけどへ(・o・)!

=【社労士あん、より人事労務、時事ネタ】=====

■副業？複業？福業？

- 厚労省が「モデル就業規則」の副業・兼業に関する規程の改定案を提示しました。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000185340.html>

※ガイドラインの中では、「裁判例を踏まえれば、原則、副業・兼業を認める方向とすることが適当」とされています。

※そもそも、「副業」に対する「本業」って何か。メインに対するサブなどというスタンスが得られる相乗効果とは？

※副業？複業？福業？…トレンドに流されず、自社における目的や考え方が問われます。



■今どき？だからこそ、地に足付けた学びが重要。

- 厚労省が労働関係法令を学べるスマホアプリ、「労働条件(RJ)パトロール！」の提供を開始しました。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000183889.html>

※社会的な啓蒙は重要なことですが、最近周囲で中途半端な知識を振りかざして「義務」を果たす前に「権利」を主張するトラブルを耳にすることも多々。だからこそ、社内でもワークルールを学ぶ機会を提供することが重要です。

■約束は明確に。

- 来年1月～、改正職業安定法が施行され、求人募集に関してはその取扱いが変更になります。

goo.gl/RXCYNF

※労使は「契約」で成立します。「労働条件通知書」の整備を。

■老舗！人事労務系専門誌「労政時報」より

*見出しから人事のトレンドをつかんでください。

【2017年11月10日号】

- ◇【特集1】2017年度モデル賃金・年収調査
- ◇【特集2】18年卒採用の振り返りと今後の展望

【2017年11月24日号】

- ◇【特集1】HRテクノロジーの活用と今後の展望
- ◇【特集2】これから施行・改正される法令のポイントまとめ

人

=【チームあん、からのお知らせ】=====

■オフィスあんの提案。人事の次は、マネジメント。

- 今年、全6回に渡って開催させていただいた、松下直子の師匠、阪口武による「人事塾」。ぜひ来年も阪口先生からの学びの機会を、という声にお応えし、「阪口武の管理職塾」を企画しました。募集は来年早々の予定ですが、こちらでフライングPRです！

- *平成30年8/3、9/7、10/5全3日。
- *オフィスあんにて、先着12名限定開催。

「管理の基本」から「よい管理の実現」までを体系的に修得していただけます。



=【【あん】のネットワークより♪】=====

弊社のパートナーやネットワークの方々をご紹介するコーナー。今回は05年9月、14年5月にも登場いただいた、10数年來のマイコーチ、株式会社コーチ・アイエヌジー代表/生嶋幸子さん。このたびサイトをリニューアルされ、併せて英語ページも創られたとのことで、再度ご紹介させていただく次第です！！

■当コーナーで唯一、三回登場。敬愛してやまない方。



- 「私たちは新しい物語を共創する」なる企業理念がまぶ目に飛び込んでくる、シンプルかつメッセージ性の強いサイト。そしてその英語版は「We Co-create Stories。」

<http://coach-ing.com/en/about.html>

- 今夏、国際コーチ連盟(ICF)グローバル・コーチ・カンファレンス(ワシントンD.Cで開催)でアジア人唯一のスピーカーを務めた幸姐さん。日本を飛び出し世界をフィールドに活躍される幸姐さんがリニューアルされたサイトには、強さと優しさが共存します。

■ホールシステムコーチング®サイト

<http://wsc-japan.com>

※なぜでしょう、日本語版と英語版を見比べることにより、より日本語のメッセージが深みを感じられます。

※私(松下)も最近、「適材適所(use of the right person in the right job)」と「適所適材(match the right talent with the right job)」の違いを説明する際、英語表記を添えています。すると不思議とその違いが分かりやすくなります。

※最近英会話を学び始めたのですが、時間があればばらばらとめくっているのが「日英人事・賃金用語辞典」。例えば、映画好きな方は、洋画から英語を学ぶように、人事屋は人事用語から英語に触れてみてはと思ったのがきっかけなのですが、これが、ドはまり(笑)。好きこそものの上手なれです。



【編集後記／近況報告】

日本の紅葉が美しい理由は、落葉広葉樹が26種類もあるからだそう。欧州では13種類。写真は京都の瑠璃光院。さあ、秋から冬へ！



株式会社オフィスあん
AZ合同事務所、社労士オフィスあん
大阪市淀川区宮原1-7-7

電話:06-6392-1139

<http://www.oan.co.jp/>